

東京勤医会 訪問看護ステーション  
合同学習会をおこないました。

## 「認知症の理解と対応」

\*日本では65歳以上の方の4人に1人が認知症とも言われています。訪問看護を利用されるのは地域の高齢の方が多く、認知症を患われている方が増えています。

\*認知症を抱えた利用者さんやその家族とどのようにかかわり、声掛けやアプローチをしていったら良いのか、医療の介入を拒む場合などどう対応していいのか、日々悩みながら訪問しています。

\*今回は、「認知症について改めて勉強しよう！」と認知症認定NSを講師にむかえ学習会を行いました。東京・埼玉・千葉の法人訪問看護ステーション10事業所から訪問看護師が集いました。

認知症の分類や特徴など基礎の部分を改めて学び、事例から実際の場面での具体的な声の掛け方や、アプローチの仕方を学ぶことができました。参加した看護師からの、実際に現場で抱えている悩みに対して具体的にアドバイスいただき、とても充実した学習会となりました。また、認知症を抱える方々の様々な行動にも意味があり、それを理解して支援していくことの大切さを学ぶ事ができました。これからも利用者さんの生活を支えるお手伝いができるよう様々な学習会を企画していく予定です。

\*勤医会訪問看護は、利用者さんが安心して住み続けていけることをサポートしています。私たちと一緒に地域を支援してくれる看護師さん募集中です。



2017年2月18日(土)